

かすかべのうりんナビ

ヘルシー・ふれあいロードを歩いて
健康増進!

サイクリングや
散歩をしながら
田園風景を楽しもうトン!



埼玉県マスコット
「コバトン」

発行 埼玉県春日部農林振興センター

〒344-0038 春日部市大沼1-76

電話：048-737-2134 FAX：048-734-1344

<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0908/index.html>



埼玉県農林部関係

フェイスブック

「元気いっぱい!!埼玉農林業」

<https://www.facebook.com/saitama.nourin>




緑のヘルシーロード・水と緑のふれあいロード

■自転車・歩行者用道路

見沼代用水路及びその支線用水路沿いに整備された「緑のヘルシーロード」と「水と緑のふれあいロード」は、埼玉県を縦断する全長約99kmの自転車・歩行者用道路です。そのうち、当センターでは約33kmを管理しています。コース案内のロードマップは、県庁舎内の県民案内室・農村整備課、春日部・加須・さいたまの各農林振興センター農村整備部で配布しています。

皆さんもサイクリングや散歩をしながら、水と緑に囲まれた田園空間を楽しんでみてはいかがでしょうか。

 [ヘルシーロード、ふれあいロード](#) [検索](#)

■「共助活動」への取組

当センターでは、地域の皆さんによるロードの清掃や除草、植栽などの共助活動に対して、軍手やゴミ袋を配布するなどの支援を行っています。支援に御協力いただける方や団体を随時募集しておりますので、関心のある方はぜひお問い合わせください。

■御利用の皆さまへ

ロードは、農耕車の通行も可能となっています。自転車の方は、スピードは控えめに歩行者にも注意して走行してください。皆さんが安心、安全に楽しむことができるよう交通ルールとマナーを守って御利用ください。

【お問合せ】 整備支援・管理担当 ☎ 048-737-2112



▲ヘルシー・ふれあいロード位置図



▲白岡市観光協会による共助活動の様子



～県営農業農村整備事業のご紹介 No.3～ 水辺周辺活用事業「緑のヘルシーロード・水と緑のふれあいロード(春日部)地区」

■水辺周辺活用事業(農業用水)とは

利用者が安全、安心に、かつ水辺や農村の魅力を実感できるように、水辺空間の環境整備等を実施する事業です。

さらに、地域と協働して利用促進に取り組むことで、沿線農業の魅力発信を図ります。

■令和4年度の整備内容について

今年度は、緑のヘルシーロード(蓮田市内)において、法面の雑草対策を目的とした、土系舗装工を行いました。また、劣化し文字が読みづらくなっていた銘板を、当センター管理区間内全線で更新しました。

また、水と緑のふれあいロード(久喜市内ほか)では、防草コンクリート工と、ひび割れた路面や崩れた路肩の補修等を実施しました。

■より利用しやすい施設を目指して

ロードの利用実態と利用者が求める補修対策を把握するための、アンケート調査及び交通量調査を行いました。

これらの調査結果をもとに、より多くの方にロードを利用いただけるよう、補修箇所及び補修内容を検討していきます。

【お問合せ】 県営事業担当 ☎048-737-2112



▲整備前の状況(蓮田市内)



▲整備後(土系舗装を施工)



埼葛地区青年農業者研究大会が開催

■概要

1月11日に研究大会が春日部地方庁舎で開催され、青年農業者等27人が出席しました。当日は青年農業者からの優れた発表と、のりす株式会社副社長の松永氏から「生産と販売をつなぐ地域ネットワーク構想」と題して講演が行われました。

■プロジェクト発表

プロジェクト発表は発表者が栽培技術や経営の課題解決に取り組んだ内容を発表するもので、八潮市の佐藤氏から、「チャノホコリダニはなぜ増える?」と題して、露地ナスの樹勢とダニの発生量との関係について発表されました。

内容は、都市近郊地域で難防除なダニを題材に、農業に頼らず新たな防除手法を模索したもので、大きな注目を集めていました。

■意見発表

意見発表は、自らの体験を通じて、日頃考えていることを発表するもので、久喜市の内田氏から「埼玉の名産・梨をつなぐ」、蓮田市の竹野谷氏から「持続可能な農業による農地の維持・活用構想」、吉川市の皆川氏から「就農して5年・・・今、思うこと」が発表されました。福祉分野との連携や地域農業の振興、女性農業者としての提言等、熱意と飛躍が感じられる発表でした。

【お問合せ】 新規就農・法人化担当 ☎ 048-737-6311



▲プロジェクト発表の様子



▲表彰状を授与された発表者



～県内の水稻栽培に貢献～ 高品質なコシヒカリの種子生産

管内では春日部市、幸手市、吉川市、杉戸町において、県から指定を受けた22.9haの採種ほで、32人の生産者の皆様がコシヒカリの優れた種子の生産に取り組んでいます。

■種子ができるまで

種子の生産は、埼玉県主要農作物種子条例により段階的に行われ、埼玉県農業技術研究センターと埼玉県種苗センターで原々種と原種を生産し、次に指定採種ほで原種の供給を受けて、一般の生産者に供給される種子が生産されます。

■センターの役割

種子の生産工程において、異品種やいもち病等の種子伝染性の病虫害に罹っている粉や雑草種子などが混入することは許されません。このため当センターやJAの職員が種子審査員や審査補助員となり要綱に定められた審査を行っています。

■ほ場審査と生産物審査

ほ場審査は現地の水田で、形状の異なる株や種子伝染性の病虫害と雑草の有無を調査して除去などを指導しています。また、収穫後の生産物審査では、発芽率や発芽勢などを検査し、合否を判断しています。これらの種子は、地元の埼葛地域をはじめ、県内各地で、おいしいコシヒカリの生産に大きく貢献しています。

【お問合せ】 技術普及担当 ☎ 048-737-6311



▲発芽率検査の様子



▲種子用種もみの出荷風景



野菜の補助事業について

埼玉県では、露地野菜を対象にした「埼玉野菜プレミアム産地づくり事業」、施設園芸を対象とした「施設園芸先端サポート技術導入事業」を実施しています。管内での取組事例について紹介します。

■埼玉野菜プレミアム産地づくり事業

ねぎやキャベツなどの対象品目の機械化一貫体系等に必要な機械・施設の導入を支援しています。

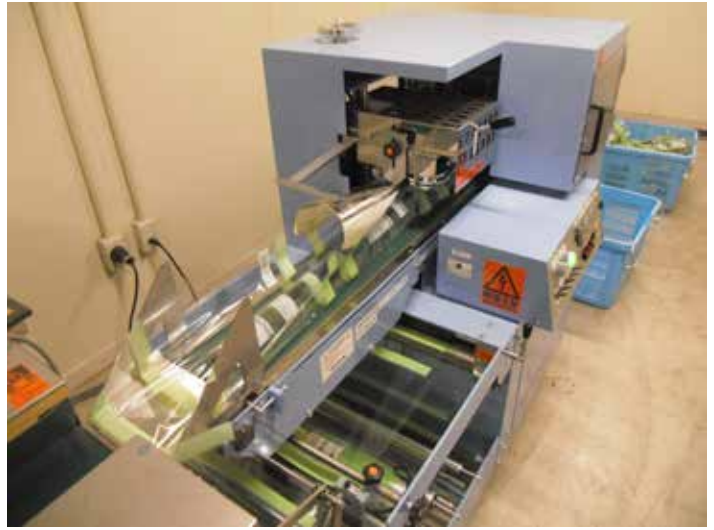
令和3年度はねぎ収穫機や乗用管理機、令和4年度は野菜包装機を導入し、露地野菜の生産拡大に寄与しています。

■施設園芸先端サポート技術導入事業

施設園芸における環境管理や栽培管理の自動化・省力化等に必要な機械・設備の導入を支援しています。

令和4年度は2名の生産者がきゅうりハウスに統合環境制御装置等を導入しました。

※来年度の補助事業については、募集を開始次第市町・JAを通じてご案内します。



▲埼玉野菜プレミアム産地づくり事業で導入された野菜包装機

【お問合せ】 地域支援担当 ☎048-737-2134



農業参入企業の紹介【(株)宮代葉菜育苗センター】

埼玉県では、企業による農業参入を支援しています。今回は(株)宮代葉菜育苗センターを紹介します。

■参入の経緯

(株)竹内園芸(徳島県)は、関東圏での葉菜類の苗需要を見込み、平成29年に埼玉県への参入を相談されました。

県から紹介を受けた6市町の中から、条件に合致した宮代町と県農林公社を交えた協議を重ね、参入に至りました。

令和2年11月に関連企業として(株)宮代葉菜育苗センターが設立され、同3年10月から試験栽培、同4年1月から本格栽培を開始しています。

■事業内容

現在は「ねぎ」を中心とした葉菜類の育苗・供給について通年対応しています。(チェーンポット、プラグトレイ対応)ねぎ苗は、種苗店、JAを通して注文を受け付けています。

【お問合せ】 地域支援担当 ☎048-737-2134



上:ハウス全景、下:高設ベンチでの育苗

